

# 早蕨

株式会社 さわらび

さわらびニュース 2012年 7月10日発行号



本社 千葉県鴨川市金東781  
TEL.04-7098-1181(代表)  
FAX.04-7098-0517  
http://www.sawarabi.com  
Eメールinfo@sawarabi.com

vol. 15

編集 編集長 藤井 浩一  
編集委員 野村 祥生 荒井 祐司



## CLOSE UP

### 「出会いに感謝」

有限会社 スグレ  
代表取締役 吉田 勝様

ホテル勤務だった私は昭和47年に長野県松本電鉄経営のホテル館山ガーデンの紹介で、さわらびさんとお会いしました。当時の上條マル子社長はかわいくて、笑顔の素敵な人との印象が今でも残っています。

取引が始まってある日、なにかと忙しいにもかかわらず、私の同僚に見合いの話をもってきていただき、時間を作って見合いに同行してくれた時は感謝でした。

その後、昭和61年に会社を退職し、保険代理店としてさわらびさんに営業に伺い、とても熱心に話を聞いていただき、またまた感謝。当時さわらびさんの会社は鋸南町元名の鋸山登山道を少し登った所にあり、社員は6名位だったと思います。会社はとても家庭的な雰囲気です。何度か訪問しているうちに、マル子社長のこだわりが伝わりました。

まずは社員教育です。静岡県御殿場の、3泊4日のセミナーに社員1名ずつ参加してもらいました。その費用を聞いてびっくり。後日社長から聞いた話によると、研修が終わって帰ってくる社員を研修会場まで迎えに行き、その帰りの車の中で、社員が教育の素晴らしさに感動して涙を流したと聞きました。

また、教育だけではなく、社員に対しての愛情も深く、誕生日等も一人ひとりに対して気配りが素晴らしく、会社訪問すると、会社と社員が一体化していると肌で感じる事ができます。

## さわらびを支えて頂いた方々〈第7話〉

扱ひ商品も私の考えていた物とはかなり違っていました。メーカーからの売込の商品を選んでいるものかと思いましたが、ところがオリジナル商品にこだわり海外(数ヶ国)まで出かけて商品化しているのには想像外でした。一度、専務、常務に同行させて頂き、商品作りに決して妥協せず、完璧な商品を求めるのを見て、さわらびさんが進化し続けるのが理解できた次第です。

以前ホテルでは、お客様に満足してお帰りいただくのが目標でしたが、今では満足を超えて感動を与えないとリピーターにはならないと言われていました。まさにそれを実行しているのが、(株)さわらびさんではないかと思えます。

会社、社員一丸となり今後共、限りなき前進するものと確信しております。

## ありがとうございます



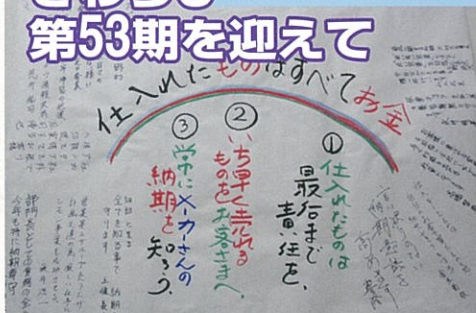
吉田さんと私の出会いは、私がまだ30代の時だったと思います。あれからずっと会社の車の保険は浮気をせず、すべてお世話になっております。これも吉田さんのおかげだと思います。いつもありがとうございます。

## 学び その7

変わらぬ人柄は  
その人の人生を支える



## さわらび 第53期を迎えて



## 利益アップと不良在庫0(ゼロ)作戦

6月より「さわらび」は、第53期がスタートしました。

53期期首にあたり、上條社長より実践計画書に基づき、経営方針の発表がありました。また、今期のテーマとして「利益アップと不良在庫0(ゼロ)作戦」を掲げ、社員一同、個々に目標を挙げました。

最後に「思い」のお話を頂きました。思いが深ければ深いほど、気づきはうまれ、気づく事が多ければ多いほど、お客様に喜んでいただける。一人ひとりが思いを深く持って仕事にかかわってほしい。

社長の思いに応えられるよう、スタッフ一人ひとりが強い思いで53期を迎えた発表でした。







